

セールスマンシップ



ショーマンシップ



北川台輔

足もとから鳥が飛び立つように訪日の話を持ち上り、諸方面の手統もトントン拍子に進んで、あと二週間で空路東京に向って出発する身となった。渡米以来十八年最初の帰国である。心は自然故郷に走り眼底に甦えるありし日の事物を想うにつけ幼かった頃の自分の姿を、今自分をとりまく幼ない児童達の姿と較べるともなく較べてみる。国情が異なるばかりでなく、三十年の星霜は私の少年時代と今

年九歳と五歳になる私の二児の現実との間に天地の相異をもたらした感がある。私はいま三十有余年の昔日本の片田舎で小学校に通った私と、今日シカゴの町で発育ざかりの年月を過しつつある私の子供達と、果してどちらが幸福なのかなど、当然解決のあり得ない問題を独りて想い耽っているのである。今から五年程前のことだった。日本から偶々訪れた教育者が拙宅に客となって

おられたが、お茶の時間にアイスクリームを食べようと言うことになった。私達は当時やっとならぬかならないかの長女に、どの種類のアイスクリームがほしいかを訊いた所が、即座に「チョコレート」という返事である。それを目撃した客人は「こんな小さい子でも自分の意見をチャンと持っているとおどろいたものだ」と言って、本当に感嘆措く能はざる様子であった。この角度から見ると、アメリカで今成長しつつある幼児達は世界中で最も幸福であることに一点の疑いもないと言えるであろう。物資が豊富であるということは、選択の自由を可能ならしめる必須条件の一つである。而して選択の自由が実現する所においてこそ選択の責任を身につけることが、必要であると同時に可能になるのではないか。私も小学校の一年生か二年生の時、自立自営の大切なことを教えられ、勤勉と克己により身を立てるべきことを訓されたことを今以て忘れないのであるけ

れども、實際生活に於て子供の立場から果してどれだけのものを選択し得たであろうか。想えば何もかも親と学校の先生、そして社会の伝統とが規定してあてがって呉れたものばかりであった。「あてがいぶち」だから子供の方で、「どれにしようか」と迷う必要はなかった。二つの良きもののうち一を捨てて他を選ぶ決断を迫られることもなかった。従順でさえあれば「食いつばぐれ」ることはなかった。けれどもその半面には働けど働けど立身出世することの出来ない深刻な社会でもあった。だからいつの間にか私達の心には、自分の運命を開拓するというような積極的な態度が無くなって、何でも構はない、とにかくあてがわれたものを以て最上無比のものとして之を文句無しに受取るという心の持ち方が生活を支配する原則となっていたように思われる。またそうして規定された枠内におさまっておれない者は直ちに反逆児として危険視されたものではなかったか。

私はこのような自分の過去と比較して、今アメリカで成人しつつある子女の幸福の無限なるを想はずにはおれない。併し乍ら他の観点に立つ時、今のアメリカの児童達にはまた私達の知らなかった苦悩がないでもない。而も幼きが故に彼らはそれに気附くべくもない。それ故にこそ一層深刻な悲劇でもあるのである。ここ数ヶ月アメリカの社会は開拓時代の英雄ディヴィ・クロケットで持ち切りだ。というのはカートトゥーン(漫画)の映画で有名になったウォルト・ディズニィがテレビジョンに児童のプログラムの一つとして紹介したことに初まるのであるが、それが何か目新しい流行のキッカケはないものかいつも鶴の目鷹の目である商人達の利用する所となつて、いまアメリカの若い男の児達はみんなディヴィ・クロケットの装束を身につけないでは気がすまないという状態である。何処を歩いても幼児の声高らかに歌うディヴィ・クロケットの歌が耳に入る。百貨

店でも十仙店でも、頭の先から足の先に到るまで、かぶる物、着る物、穿く物、懸ける物、廻し物、飾る物から鉄砲や刀をはじめ凡そ人智の想像し得る限りの玩具がディヴィ・クロケットの名とその肖像を入れて並んでいる。画本、レコード、ジグソー・パズル、その他幼児の生活のあらゆる面にディヴィ・クロケットは浸透し氾濫しているのである。

右の実情は何を物語るかと言えば、現今アメリカの社会はその功利主義の為に幼児を利用することを敢て辞せない社会だということである。上述したのはその最も著しい一例に過ぎない。諸種の食品を生産する会社ではテレビジョンの子供のプログラムをスポンサーして、幼児達に夫々自家生産の品を推薦するわけだ。幼児達はそれを母親にねだつてやまないし、また店に入ってみると幼児の目を惹くようにその品々が飾られているので、つい母親達もそれを買うということになるのである。自由競争を以て立て前

とする資本主義もこうして幼児達を商品
宣伝の媒介として利用するに到っては甚
だ憂慮せざるを得ないではないか。

それは嘗て自由だった幼児の世界が商
業文明の功利主義によって侵略されつつ
あることを意味するものである。幸いに
して選択の自由を保持し得るアメリカの
幼児達に、現代の経済機構を左右しつづ
ある商人層が自らの利益を促進するもの
を選抜せしめるように圧迫を加えつつあ
るのだと言つて過言でない。それは、唯
一つしか与え得ないものを「あてがいぶ
ち」としてあてがうのとはその経路に於
て根本的に異なるものではあるが、選択を
強制されるという結果に於ては異なる所が
ない。ディヴィ・クロケットが流行して
いる間は彼以外の誰をも英雄として選択
し得ない状態であるからだ。

斯様に觀察して来ると、自由を誇るア
メリカの社会でも、だんだんと自由は失
われつつあると言つて差支ない。實質よ
りも、セールスマンシップとショーマン

シップによって、無数の商品にとりまか
れた購買者を説伏し、屈服せしめ以て自
家生産品を購はしめるという傾向が甚だ
強い。一人まいになった大人にこのよう
な功利主義的な圧迫を加えるのはまだし
も稚い幼児達の心をまで之によって支配
することは、結局彼らをして自分の判断
を以て自己の最も必要とするものを選択
する決断力を失わしめる結果となるので
はないか。

崇高なる意味での個人主義を誇つたア
メリカは今日その形骸を留めているばか
りのように想えるのである。女のハット
とドレスだけは十人十色、万人万色であ
るが、誰も彼も同じ宣伝を以てその選
択を迫られ、時代からとりのこされな
いように、(ということは流行におくれな
いようにという事以上に出でないのであ
るが)世間から変り者扱いされないよう
に(ということは独自の意見を持たぬと
いうことに他ならぬ)気を配りつつ、心
の中はいつの間にか百人一色に染りつづ

されつつあるものようである。之は全
体主義を培うのに最も適した状態である
と言わねばならない。まことに危険な状
態である。

マス・プロダクションとマス・コミュニ
ケーションの支配する社会、而もその
支配原理が自由商業と功利主義である場
合、そこに成長する幼児達は、余程その
親達や世の教育者達が心眼を開いて、確
固たる信念と主義とを以て彼らの教養に
あたらない限り、自由社会を担つて立つ
自由主義となることは期し難いのであ
る。私は今、近く訪れんとする祖国日本
がどのような状態にあるだろうかを想像
しつつ、若しも日本が「あてがいぶち」
の実情を脱し得ざるうちにアメリカ的な
セールスマンシップとショーマンシップ
に支配されることを敢てしたとするなら
ば、そこに生育する児童達の不幸はどん
なにか深刻なものではないかと恐れを抱
かずにはおれないものである。